

私立 京都精華大学

クリエイターデビューを目指す表現者のキャリア形成支援

取組期間	2009(平成21)年度～2011(平成23)年度
区分	学生支援推進プログラム
所在地	〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
設置者	学校法人 京都精華大学

取組内容とその成果

プログラムの目的及び内容

本取組みにおいては、学生と、卒業生など第一線で活躍するクリエイターや社会人との交流を中心にすえた、実践的なプログラムを実施することにより、学生の自己及び社会理解やコミュニケーション・スキル、問題解決能力等を育てる機会の充実を図るとともに、これらの活動を通じて学生の社会人としての態度・志向性を高めることを目的とした。

到達目標

学生の就職支援に加え、作家活動等表現者としてのキャリアも含めた総合的なキャリアデザインの確立を支援するため、学生の自己実現意欲を喚起することを一義とし、卒業後の進路について学生各々が自らの自己実現のための方策に基づき、主体的に進路を選択できるよう、様々な支援プログラムの実施や、進路選択に必要な多岐にわたる情報提供を通して、学生の意欲向上に係る機会増大の達成を図ることを目標とした。

プログラムの実施内容

学生の意欲向上を達成するため、「京都北山からの熱い風」「セイカメディアスクール」等学生が第一線のクリエイター等社会人と直接交流する機会を確保するとともに、各種ガイダンス及び講座の実施、本学独自の企業リスト作成等、多岐にわたるキャリア形成に関する情報をより多くの学生に提供するための事業を実施した。これらの事業を活用し、より多くの学生が社会の実態を把握し自己変革の必要性を認識することで、学生全体のキャリア形成意欲の一層の向上を図った。

また、学長を中心とした全学的な支援体制により、就職委員会等を通じて各学部等教学組織にも本取組

の対象を広げ、キャリアカウンセリング等キャリア支援課（2011(平成23)年度より就職課から名称変更）の相談体制を強化するとともに、学生・企業データベースやメーリングシステム等を活用した恒常的な求人情報や支援プログラム情報の提供等のサポートを行うことにより、入学時から卒業後まで一貫したキャリア形成支援のための教育活動が可能な体制をとった。

プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

学内では、どのような方法で周知徹底したのか。

大学ホームページに掲載するとともに、参加対象学生に対しては、メーリングシステム、告知ポスター、はがき、ゼミ・コース訪問による告知、進路・就職ガイダンスでの配布資料等で周知徹底した。また、教職員に対しては、各種会議や就職委員及び各コース就職担当教員を通じて周知を行った。

2. 当該プログラムの成果

①自己評価はどのような観点で行ったか。

到達目標に対して、「学生に、進路選択に必要な多岐に渡る情報を提供できたか」、「より多くの学生の意欲向上に繋がったか」という観点から事業別に自己点検評価を行った。

②到達目標に達したか。

本取組み全体を通じて、より多くの学生が進路選択に必要な多岐にわたる情報を獲得し、キャリア形成に係る意欲向上の機会を得たと判断できることから、本取組は目標に到達したと評価する。

③具体的な成果は何か。

取組期間中に実施した事業毎の具体的な成果については以下のとおりである。

(1) 学生が第一線のクリエイター等の社会人と交流する機会の確保

- ・「京都北山からの熱い風」(資料1)実施により、学生が第一線のクリエイターから創意工夫に富んだアドバイスを受けることにより、学生のキャリアデザイン確立に係る自己実現欲求の喚起や自己実現のための方法論への理解度の一層の向上が図られるとともに、このイベントに向けての創作活動を通じて、修学における目的意識の向上に繋がった。また、このイベントの中で「学生及び企業との意見交換会」を実施したことにより、本プログラムの核となる「学生と先輩クリエイターの交流」について、学生のキャリア形成に係る学習意欲向上についての効果が確認できた。
 - ・「セイカメディアスクール・メディアコンテンツ業界就職講座」(資料2)の開催により、メディアの世界で活躍する卒業生など、第一線のクリエイターから様々なアドバイスを受け、学生が業界や仕事内容について、またキャリアパスについて学ぶことにより、キャリアデザイン確立に係る自己実現欲求の喚起や自己実現のための方法論への理解度が向上した。
- (2) 各種ガイダンス及び講座
- ・「クリエイティブ業界向けポートフォリオ制作講座」(資料3)実施により、クリエイティブ業界を目指す学生が目標に沿った進路実現に必要な作品ポートフォリオ制作等について学んだことにより、社会で求められる力や自己実現のための方法論への理解を深めるとともに、キャリア形成に係る意欲向上を図ることができた。
 - ・デッサン講習会「えんびつの会」(資料4)実施により、学生の修学に対する目的意識の形成と、目的に沿った知識・能力の獲得を目指す自己研鑽のサポートを充実させることができた。
 - ・就職適性検査(資料5)実施により、学生が職業興味・適性などの自己理解を深めたことにより、その後の業界・企業研究等就職活動の準備段階において、社会の実態と自己変革の必要性をよりよく理解することができた。
- (3) 学生へのキャリア関連情報提供
- ・学内企業セミナー(資料6)実施により、参加学生が自ら業界及び職種等の情報を収集することで、採用情報などキャリア形成に係る豊富な知識を獲得し、社会の実態と自己変革の必要性を把握することにより、就学意欲の向上が図られた。
 - ・メーリングシステム及び学生・企業データベース充実(資料7)により、本プログラム参加状況や就職活動に係る学生状況のデータがよりスムーズに掌握できるようになったことに加え、本プログラムの行事予定や、多岐にわたる企業求人等の情報を迅速かつ分かりやすく学生に伝達することが可能となった。
 - ・独自の企業リスト作成(資料8)により、学生が本学の教学内容と関係の深い多岐にわたる職業情報について学習することにより、学生各々が社会の実態と自己変革の必要性を把握することができた。
 - ・企業求人情報の収集(資料9)により、企業求人情報データベースシステム及び企業リスト等を通じて、速やかに企業情報を学生及び卒業生に紹介することにより、学生が社会理解を深め、自らのキャリアデザインの幅をさらに広げるとともに、卒業後においてもキャリア形成支援のための教育活動を実践することができた。
- (4) 首都圏での就職活動支援
- ・学生向け宿舎確保(資料10)により、クリエイティブ職が集中する首都圏での就職活動支援を行い、学生が自らの目標に沿った進路を見極める力の醸成及び目標に沿った進路を実現する方法論への理解度向上に寄与した。
- (5) 学生相談体制の強化
- ・キャリアカウンセラーの配置(資料11)により、キャリア支援課の指導・相談体制を強化したことにより、多くの学生相談に対応するとともに学生各々と求人情報のマッチングを図ることができ、卒業生も含めた学生のキャリア形成意欲が向上した。
- (6) プログラム内容の公表・普及
- ・Webサイト開設(資料12)による本プログラムの内容等に関する情報の公表・普及により、他大学等外部からの問い合わせや意見を集約する体制が整った。これによって、他大学の学生支援手法との比較・検討を行うことにより、教育目的に沿った学生支援の手法についての評価の在り方や、新たな支援手法の開発につながるとともに、学生のキャリアデザイン確立のための全学的なプログラムの継続的改善が図られた。
- (7) プログラム内容の評価
- ・評価委員会開催(資料13)により、プログラムの実施方法や内容、結果および有効性の評価を学

外者の意見も交えて行い、その評価結果に基づき、プログラムの改善点や工夫すべき方向性を確認することができた。

今後の計画

1. 当該プログラムの成果をどのように活用していくか。

当プログラムの実施により、学生がクリエイターとして就業し、キャリアを重ねていくためには、キャリアデザインへのより強い意欲を持続する力を養うとともに、多岐にわたる就業のための方法論を学ぶ必要があり、これらのことを成し遂げるためには、卒業生等の身近な先輩クリエイターから励ましやアドバイスを受けることが非常に有効な手段であることを確認することができた。また、社会から求められる能力を知り、目標に沿った進路を実現するための方法論への理解を深めた学生が、自己研鑽を図るための各種講座類についてもプログラム中において適切に実践できたことから、今後の支援メニューの策定にあたって貴重なデータと経験値が得られた。

本取組み終了後も、学生と第一線で活躍するクリエイターや社会人との交流を中心に据えたプログラムの充実を図り、正課授業も含めた各種講座のさらなる開発を行っていくとともに、多岐にわたる業界・職種についての情報や、就職に際して必要な能力・知識についての情報をより多くの学生に伝えることを目標として、今後の事業計画に反映させていきたい。また、当プログラムで導入した学生向けポータルサイトやメーリングシステムなどの情報インフラを活用することにより、学生に卒業後も有益な情報を提供できる体制を維持したい。

2. 今後の計画

(1) 学生が第一線のクリエイター等の社会人と交流する機会の確保

「京都北山からの熱い風」については、就職活動を控えた3年生のクリエイターに向けてのプレゼンテーションイベントとして継続し、「セイカメディアスクール・メディアコンテンツ業界就職講座」についても、正課授業の「キャリアデザイン」と連動しつつ、メディア・マスコミ業界志望以外の学生にもターゲット層を広げながら継続していく計画である。

(2) 各種ガイダンス及び講座

学生のキャリアデザインへのより強い意欲を持続

する力を養うとともに、多岐にわたる就業のための方法論を学ぶ支援を行うことを目的とし、今後も内容の改善と取捨選択を行いながら実施していく。「クリエイティブ業界向けポートフォリオ作成講座」については次年度も継続して実施し、2011(平成23)年度「キャリアのためのデッサン1～4」として正課授業となった「デッサン講習会」も引き続き授業として開講する予定である。

(3) 学生へのキャリア関連情報提供

「学内企業セミナー」については、今年度同様年3回の開催を計画する。また、厳しい求人環境のもと、本学学生の興味関心の高いクリエイティブ職求人や、自己表現を志向する学生の精神性を生かせる新たな領域の企業等の情報収集をより一層強化し、有益な情報を本取組で充実したメーリングシステム等を活用して、速やかに学生に伝達する計画である。また、収集した情報を反映した「独自の企業リスト」を速やかに更新することにより、学生が各々の興味・関心や能力を生かせる職場の情報を逐次発信していきたい。

(4) 首都圏での就職活動支援

東京都台東区の学生用宿舎を引き続き確保する。2011(平成23)年度は東日本大震災の影響や、採用活動解禁が2ヶ月遅れになったことなどから繁忙期以外の稼働率が思わしくなかったため、次年度は、シーズンに応じて部屋数を2部屋から1部屋に減らし、稼働率を高める計画である。

(5) 学生相談体制の強化

キャリアカウンセラーの配置により学生の進路選択に伴う様々な相談に応じたノウハウを生かし、キャリア支援課スタッフのスキルアップにより効果的なカウンセリング及びアドバイスを実践するとともに、より多くの学生に有益な職業情報を伝えていく計画である。キャリアカウンセラーの配置は一旦終了するが、各学科・コースの就職担当教員や教務部、学生部等との連携を密にし、全学をあげた学生相談体制の確立を目指す計画である。

(6) プログラム内容の公表・普及

補助事業終了後も核となる取組みは継続する予定であり、それぞれの取組みを大学のホームページや広報誌等によって学内外に広く公表する。他大学等外部からの問い合わせや意見は集約し、他大学の学生支援手法との比較・検討を行うなど、本学の教育目的に沿った学生支援の手法について継続的に改善を図っていく。

(7) プログラム内容の評価

就職委員会に代わって平成 23 年度に発足したキャリアデザインセンター会議のもと、今後も継続するプログラムや学生のキャリア支援活動全般について、PDCA の観点から引き続き点検評価を行い、学生支援策の継続的改善を図っていく。

就職未内定者への支援策

1. 内定(内々定)のピークを過ぎても内定(内々定)を得られない者への支援策

2011(平成 23)年度は 4 年生向けの学内企業セミナーを 12 月 15 日にも追加開催し、企業 22 社、学生 72 名が参加した。また、3 月 5 日には京都市の支援事業と連携した学内企業セミナーを開催し、企業 5 社に加え、京都新卒応援ハローワーク担当者を大学に招き、学生 64 名が参加した。

また、求人依頼送付企業に対しては、求人継続についてのアンケートを再度実施するとともに、本学の学生が志向する業種・職種の求人情報を、ハローワークの協力を得て入手するなど求人情報の再開拓を行い、学生向けポータルサイトやメーリングシステムを通じて発信した。

デザイナー等のクリエイティブ職求人は不定期なものが多く、年間を通じて断続的に求人が発生し、内定時期も特段のピークが無い傾向にあるため、年間を通じて求人情報を収集し、学生に対して迅速に

情報提供することを基本に据えて業務を行った。

また、週に一度、ピックアップ求人をメールマガジンに載せ、卒業時まで配信を継続することで、学生が認知していないクリエイティブ関連企業やいわゆる「BtoB 企業」等の情報を紹介し、マッチングの促進を行った。

2. 未内定のまま卒業した者への支援策

本取組みの中で卒業生向けの求人情報ページを新設し、学生向けポータルサイト内で情報発信を継続している。既卒生可、または既卒生のみの人を日常的にキャリア支援課で受け付け、迅速に情報更新を行っている。卒業後も希望者には ID、パスワードを付与し、自宅からでもパソコンで求人票が閲覧できる状態にある。また、過年度卒業生を含め、キャリア支援課窓口でも随時相談を受け付けており、求人情報等の提供希望者を求職登録票で管理し、適宜求人とのマッチングを図っている。

また、卒業時未内定者への支援策として、2011(平成 23)年度 4 月には、ハローワークの協力を得て、卒業生の未内定者を対象に就職説明会を開催した。平成 23 年度の卒業生に対しても、未内定者全員にキャリア支援課及び新卒応援ハローワーク等の支援について周知を徹底するなど、情報の提供を行うとともに、大卒ジョブサポーター等との連携をとりながら一貫した就職支援を継続している。

資 料

1. 「京都北山からの熱い風」(東京での学生作品プレゼンテーションイベント)

平成 21 年度 展示会形式

学生が各々のブースで作品を展示し、来場した企業等のクリエイターに対してプレゼンテーションを行った。

日 時：平成 22 年 1 月 29 日 16:00 ~ 20:30

場 所：ホテルイースト 21 東京

参加学生：3 年生 56 名

参加企業：65 社 101 名 (広告・出版・映像制作・マスコミ 32 社 (フリーランス含む) ゲーム・アニメーション 7 社 建築・ディスプレイ 10 社 インテリア・アパレル・その他メーカー 15 社 その他 1 社)



会場



学生ブース写真 1



学生ブース写真 2

平成 22 年度～ 23 年度 企業訪問キャラバン形式

学生がグループで志望業界の企業等を訪問し、クリエイターに作品ポートフォリオのプレゼンテーションを行った。

平成 22 年度 日時：平成 22 年 9 月 1 日～9 月 2 日

宿泊先：赤坂エクセルホテル東急

参加学生：3 年生 34 名 訪問先：18 社

平成 23 年度 日時：平成 23 年 9 月 7 日～9 月 8 日

宿泊先：赤坂エクセルホテル東急

参加学生：3 年生 39 名 訪問先：19 社



事前研修



企業でのプレゼンテーション



報告会

「京都北山からの熱い風」平成 23 年度 訪問先企業

	企業等名	業種	訪問日時	学生数
1	株式会社プロモーション	映像広告制作	9/7 午後	9
2	はまのゆか氏アトリエ	イラストレーション	9/7 午後	6
3	株式会社クレオ	広告 SP	9/7 午後	6
4	株式会社ベース	建築・ディスプレイ	9/7 午後	5
5	明松聡デザイン室	書籍装丁デザイン	9/7 午後	6
6	株式会社プロダクションアイジー	アニメーション	9/7 午後	7
7	株式会社サンリオ	キャラクター文具	9/8 午前	4
8	株式会社白組	CG・アニメーション	9/8 午前	5
9	株式会社コクヨ	オフィス用品製造	9/8 午前	5
10	株式会社サイバーエージェント	WEB・アプリ	9/8 午前	5
11	イマ・グループ	玩具・コンテンツ	9/8 午前	3
12	株式会社日本デザインセンター	広告制作	9/8 午前	10
13	株式会社クリーチャーズ	ゲーム	9/8 午前	7
14	株式会社アドブレーション	広告制作	9/8 午後	9
15	株式会社コトブキ	椅子・遊具製造	9/8 午後	4
16	株式会社ブリグラフィックス	出版・編集	9/8 午後	5
17	株式会社マッドハウス	アニメーション	9/8 午後	7
18	株式会社フロム・ソフトウェア	ゲーム	9/8 午後	8
19	株式会社 DNP エス・ピーテック	広告宣伝物企画制作	9/8 午後	6

参加学生の声

【平成21年度】

- ・精華を卒業された方々の活躍を知ることができ、とても誇らしい気持ちになった。
- ・自分の作業スピードや作品の限界、プレゼンテーション能力を知れてよかった。
- ・自分がデザイナー職に就くための壁がどういうものなのか少し分かり、今しなければならぬことが見つかった。
- ・他学部の志の高い学生との交流が刺激になった。
- ・今までは受身の姿勢だったが、自分から動こう！と自然と思えるようになった。精神的にタフになった。
- ・作家さんであっても企業で働く人であっても経験者の方の意見は大変参考になった。

【平成22年度～】

- ・クリエイティブ業界の企業がどういうところなのか、実際の現場で生で見られたことはとても大きかった。
- ・今までは知らなかった他コースの人たちのポートフォリオやプレゼン、就職への考えが聞けたのも収穫の一つだった。
- ・就職に対する考え方が明確になり、この会社で働きたいと思える企業に出会えた。
- ・講習のおかげでプレゼンが苦でなくなった。「就活」における心構えと覚悟、何よりやる気と自身が持てた。
- ・自分の好きな事を仕事にと考えるなら、これから先もっと厳しい環境に慣れていかなければならぬのだろうと、気が引き締まった。
- ・フリーランスであろうと、就活希望であろうと、自分をプレゼンテーションしていく能力も含めて自分自身なんだと考えるようになった。
- ・社会人ないしはプロの作り手としての目線で意見を言ってもらえると、今まで思考していた事がどれだけ小さくて、社会と差があったかが解った。

参加企業の声

【平成21年度】

- ・学校の作品とは別に会社にアプローチする作品（ポートフォリオとか）があっても良かった。
- ・就職市場が厳しい中、学生の可能性を広げられるチャンスである。
- ・社会人へのプレゼンは、経験として本人たちの

就職活動のためになると思う。

- ・全体的に世の中の流れに乗った作品が多い。もしくは過去にあったものに似ていたり。もっと自由な発想、作品が見てみたい。
- ・就職に関する意欲の向上に大きく結びつくと思う。また進路に迷っている学生が多いことと考えるので、今後の進路決定の後押しになったのではと思う。
- ・いわば企業側がお客様。(という設定なので) いかに満足させられるか、興味を引き出せるかを考えるのは、まさに企業デザイナーの使命であり、それをこの時期に疑似体験するのは有意義であると感じた。

【平成22年度～】

- ・大学の先生や先輩だけでなく現場で働いている人に講評してもらう機会は貴重。
- ・同じ大学を卒業した人がどのような仕事をしているのかを見ることは学生にとって大変参考になるだろう。
- ・現役のクリエイターの話をとくさん聞くことは有益だと思う。
- ・3年生の9月にこのような機会を設けることは、学生の就活に対する意欲向上に効果的である。
- ・学生の就職活動に対するフォローとして良い取り組みである。
- ・興味のある会社を学生がピンポイントで訪問するというアイデアはいい。
- ・ポートフォリオの完成度がまだまだ低かった。これまでに学んできたこと、今現在興味のあること、将来目指す方向性が見て取れる構成になっているともっとアピール度が上がった。
- ・作品を作るだけでなく、自分の見え方、話し方、自己プロデュースもクリエイターの大切な資質であることをもっと指導すべき。
- ・イラストレーターの場合フリーの人が多いが、学生があまりコンベヤ持込の方法を知らないようなので、それを伝えることも必要。
- ・関西から首都圏へ行くこと自体貴重な体験と思うので、首都圏へ就職することも含め、学生の良い判断材料になるだろう。

2. セイカメディアスクール・メディアコンテンツ業界就職講座

同講座は、メディア・マスコミ業界への就職支援を目的として平成10年に開始以来、メディアの第

一線で活躍する卒業生等のゲスト講師を交えた実践的な指導を行ってきた。近年は、業界を問わず求められるコミュニケーション力をつけるワークショップなど、汎用的な能力も養う内容となっており、メディア・マスコミ業界志望以外の学生の受講者も増えている。

講座の様子



補助事業として実施した平成22年度以降の実施内容

平成22年度

後期授業科目「キャリアデザインⅢB」を開講するとともに、授業履修者以外の参加者も含め、「メディアコンテンツ業界就職講座」を同時開催した。授業履修者に聴講生を合わせた講座登録者数は102名(内3～4年生 98名)であった。

後期 メディアコンテンツ業界就職講座/キャリアデザインⅢB日程

日程	曜日	授業内容	ゲスト講師
9月25日	土	①ガイダンス	担当教員
10月2日	土	②編集・出版の仕事研究	フリー編集者/「ランドネ」元編集長
10月9日	土	③広告の仕事研究	㈱ライトパブリシティ CMプランナー ㈱ノンアソシエイツ コピーライター
10月16日	土	④マンガ編集の仕事研究	コミック編集者
10月23日	土	⑤ネット広告の仕事研究	㈱トレンダーズ マーケティングディレクター
10月30日	土	⑥アニメの仕事研究	アニメーション脚本家 元スタジオぴえろ
11月6日	土	⑦映像の仕事研究	㈱ネイキッド ディレクター
11月20日	土	⑧デジタルコンテンツの仕事研究	㈱ギフト 代表取締役社長
11月27日	土	⑨アニメの仕事研究2	㈱シャフト 企画部 講師
12月4日	土	⑩志望動機確立ワークショップ1	担当教員
12月11日	土	⑪志望動機確立ワークショップ2	担当教員
12月18日	土	⑫メディア・カルチャー基礎知識	フリーライター
1月8日	土	⑬広告・マーケティング基礎知識	㈱電通クリエイティブ局コピーライター
1月15日	土	⑭デジタル基礎知識	㈱トレンダーズ マーケティングディレクター
1月22日	土	⑮総括授業	担当教員

平成23年度

前期授業科目「キャリアデザインⅣB」と「メディアコンテンツ業界就職講座」を隔週で開催した。授業履修者に聴講生を合わせた講座登録者数は123名（内3～4年生 119名）であった。

前期 メディアコンテンツ業界就職講座／キャリアデザインⅣB 日程

日程	曜日 講時	授業内容	ゲスト講師
4月8日	金・5 金・6	表現の仕事ナビⅠ 編集・ライター 表現の仕事ナビⅡ アニメーション	「ランドネ」元編集長 アニメーション脚本家
4月15日	金・5 金・6	オリエンテーション 履歴書の書き方	担当教員
4月22日	金・5.6	コミュニケーション力を鍛えるWS	俳優・即興パフォーマー
5月6日	金・5.6	自己PRのポイントを探るワークショップ	担当教員
5月13日	金・5.6	履歴書の書き方 ワークショップ	株式会社クリエイティブ局コピ ライター
5月20日	金・5.6	取材&インタビューワークショップ	フリージャーナリスト
5月27日	金・5 金・6	受かる面接のテクニック 講義 受かる面接のテクニックワークショップ	担当教員
6月3日	金・5.6	サルでもわかるデジタルスキルワークショップ 1	株式会社 代表取締役
6月10日	金・5.6	サルでもわかるデジタルスキルワークショップ 2	株式会社 代表取締役
6月17日	金・5.6	企画の立て方ワークショップ	株式会社 PRディレク ター
6月24日	金・5.6	模擬面接	担当教員
7月1日	金・5.6	自己PRプレゼンワークショップ	担当教員
7月8日	金・5.6	模擬面接	担当教員
7月15日	金・5.6	総括授業	担当教員

* 網掛け部分が正課授業「キャリアデザインⅣB」

セイカメディアスクール・メディアコンテンツ業界就職講座登録者数の増加

講座登録者 内3～4年生数（3～4年生在籍者）

平成22年度 102名 98名 (2,117名)

平成23年度 123名 119名 (2,021名)

3. クリエイティブ業界向けポートフォリオ制作講座

クリエイティブ職での就職活動に必要な作品ポートフォリオ制作等について、外部講師を招いた講座を実施した。平成23年度、参加者が前年度を大きく上回った。

協力：株式会社イマジカデジタルスケープ

内容：集合型セミナー 90分（18：00～19：30）×3回シリーズ

第1回「就職活動のためのポートフォリオの基礎」

・ポートフォリオの意味（作品集と就活向けポートフォリオの違い）

・見易さを意識した構成とは？

・制作プロセスの盛り込み方

第2回「良いポートフォリオ、悪いポートフォリオ」

・1回目の基礎を踏まえて、具体的に掘り下げて検証

第3回「プレゼンテーションについて」

・作品のアピールはポートフォリオ+プレゼンテーション

・プレゼンテーションで気をつけておくべきこと

平成22年度 補助事業「クリエイティブ業界向けキャリアカウンセリングプログラム」の一環として実施。

第1回 10月26日 第2回 11月9日

第3回 11月30日

参加者 3回 のべ231名、実数147名

（3年生在籍者 973名）

平成23年度 補助事業「クリエイティブ業界向けキャリアガイダンス」の一環として実施。

第1回 10月4日 第2回 10月11日

第3回 10月18日

参加者 3回 のべ273名、実数173名

（3年生在籍者 955名）

4. デッサン講習会「えんぴつの会」

デザイナー等クリエイティブ職での就職に必要な基礎画力を磨くデッサン講習会「えんぴつの会」は、平成21年度、2回シリーズでスタートし、平成22年度は補助事業として、5回シリーズに拡大して開催した。また平成23年度は正課カリキュラム「キャリアのためのデッサン1～4」として授業化された。



学生参加状況

	1期	2期	3期	4期	5期	延べ人数合計	実人数合計
平成21年度	37人	35人				72人	53人
平成22年度	49人	37人	25人	35人	44人	190人	153人
平成23年度	「キャリアのためのデッサン1」履修者57人 「キャリアのためのデッサン2」履修者28人 「キャリアのためのデッサン3」履修者51人 「キャリアのためのデッサン4」履修者25人					161人	108人

*平成21年度：各期5時間×4回シリーズ

平成22年度：各期5時間×7回シリーズ

平成23年度：授業2コマ（3時間）×15回（1セメスター）

*授業化された平成23年度は、参加人数こそ前年を下回ったが、日程が1セメスター（15回）に拡大し、学生が社会で求められる能力を磨く機会を、より多く得ることができた。

5. 就職適性検査

平成22年度、学生が職業興味などの自己理解を深めるため、就職適性検査を実施した。

就職適性検査「キャリアアプローチ」

実施日：平成22年6月28日

受検者数：215名

適性検査の結果を踏まえたフォローガイダンス

実施日 : 平成 22 年 7 月 14 日
参加者数 : 129 名

6. 学内企業セミナー



取組期間中の学内企業セミナー実施結果

平成 21 年度			
開催日程	平成 22 年 2 月 23~25 日		
開催時間	13:30~16:30		
参加企業	131 社		
参加学生数	3 年生延べ 420 名 * 3 年生在席者 1,074 名		
平成 22 年度			
開催日程	平成 22 年 6 月 22~23 日	平成 23 年 2 月 22~24 日	
開催時間	16:20~19:00	13:30~16:30	
参加企業	45 社	102 社	
参加学生数	4 年生延べ 111 名 * 4 年生在籍者 1,144 名	3 年生延べ 429 名 3 年生在籍者 973 名	
平成 23 年度			
開催日程	平成 23 年 7 月 7~8 日	平成 23 年 12 月 15 日	平成 24 年 2 月 21~23 日
開催時間	15:30~19:00	16:00~19:00	15:30~19:00
参加企業	40 社	22 社	103 社
参加学生数	4 年生延べ 175 名 * 4 年生在籍者 1,066 名	4 年生 72 名	3 年生延べ 464 名 3 年生在籍者 955 名

就職内定者アンケートの結果 (平成 21 年度~平成 22 年度)

役に立った行事ベスト 5

	人数	比率
* 母数はアンケート回答者 98 名 複数回答可		
① 進路・就職ガイダンス	65 名	66.3%
② 学内企業セミナー	48 名	49.0%
③ 証明写真撮影会	32 名	32.7%
④ 業界研究会	21 名	21.4%
⑤ SPI 模試・講座	19 名	19.4%

* 毎年より多くの学生に多岐にわたる企業情報を提供でき、就職意欲向上にも有効との結果を得た。

7. メーリングシステム及び学生・企業データベース充実

- 1) キャリアスコープ 平成 22 年 10 月開設
- ・メーリングシステム機能を備えた学生向けポータルサイト
- ・学生が PC 及びモバイル環境で就職情報を受け取れるシステム



2) 学生・企業データベース充実 (平成 21 年度~平成 23 年度)

- 学生の活動状況等を把握するシステム改善
- ・指定期間キャリア支援課利用状況把握機能追加
- ・指定ガイダンス参加者の進路決定状況把握機能追加 他
- 企業求人情報検索
- ・検索条件の改善
- ・求人票イメージ、就職活動報告記イメージが閲覧可能に
- ・卒業生向け求人情報画面設置 他

求人検索画面

2013年卒業予定者向け(学部3年生・院1年生向け)求人・今年就職入社予定分(院1年求人付目録) 編者:デザイン/奥橋

※ 求人検索には「希望の職種」を選択し、検索ボタンをクリックしてください。

希望職種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
希望職種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

卒業生向け求人情報画面



3) キャリアスコープ システムログイン状況

平成 22 年度件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
						659	623	497	694	842	981	4296

平成 23 年度件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1088	813	770	786	830	1022	1094	1126	1208	1134	1358	1165	12394

* キャリアスコープの認知度が増し、学生及び卒業生が、このサイトを通じてより多くの情報を獲得した。

8. 独自の企業リスト作成

平成 22 年度、本学独自の企業リストを作成、配布するとともに、Web 上で閲覧できるシステムを構築。平成 23 年度には Web 上のデータベース及び画面を改訂した。

平成 23 年度 企業リスト Web 改訂版



9. 求人情報の収集

企業訪問や求人依頼の発送、求人アンケートの実施などにより収集した求人企業数は

平成 21 年度 2,003 社、平成 22 年度 1,817 社、平成 23 年度 2,099 社であった。

10. 学生向け宿舎確保

東京都台東区に首都圏での就職活動用に学生用宿舎を 2 部屋確保した。

取組み期間中の利用者は延べ数で、平成 21 年度 71 名 (222 泊)、平成 22 年度 105 名

(222 泊)、平成 23 年度 104 名 (144 泊) であった。

11. キャリアカウンセラーの配置

取組み期間中のキャリアカウンセラー配置状況

平成 21 年 10 月～11 月 1 名

平成 22 年 11 月～3 月 1 名

平成 23 年 4 月～3 月 1 名

取組み期間中のキャリア支援課利用者数 (相談件数) 推移

延べ人数	人文学部	芸術学部	デザイン学部	マンガ学部	合計
平成 21 年度	564	359	346	177	1446
平成 22 年度	886	515	570	427	2398
平成 23 年度	927	924	725	419	2995
前年度比 (%)	104.6%	179.4%	127.2%	98.1%	124.9%

実人数	人文学部	芸術学部	デザイン学部	マンガ学部	合計
平成 21 年度	230	144	150	81	605
平成 22 年度	301	177	193	134	805
平成 23 年度	333	255	238	156	982
前年度比 (%)	110.6%	144.1%	123.3%	116.4%	122.0%

* のべ人数、実人数とも毎年前年度を大幅に上回った。

12. Web サイトの開設

平成 21 年度、本プログラムの内容についてのホームページを開設し、学内外に広く取組み内容の公表・普及を図った。

URL <http://www.kyoto-seika.ac.jp/career/gp2009/>

13. 評価委員会開催

本プログラムの評価委員会を開催し、本プログラムの実施方法や内容、結果、有効性について評価を行った。

平成 21 年度：2010 年 3 月 8 日 就職委員会の中で実施

平成 22 年度：2011 年 3 月 2 日 就職委員会の中で実施

平成 23 年度：2012 年 3 月 23 日 キャリアデザインセンター会議の中で実施

評価結果

評定：S

評定理由（総論）

大学の教育目的に沿って学生のキャリアデザイン形成を確立させようと支援する、優れたプログラムである。クリエイティブ職を目指す学生にとって必

要な相談体制、卒業者や首都圏企業などとの交流を通じて実践的な就職支援を展開し、キャリア形成を支援している。学生支援の継続的な改善が目指されており、その計画も実現性が高い。到達目標に対する自己点検評価も行われており、外部の意見を交えた評価が実施されている。

実地視察報告

視察日：2012(平成24)年11月30日（金）



総評

人文学を含む芸術系を中心とした学部構成の中で、大学の教育目的に沿って学生のキャリアデザイン形成を支援する、優れたプログラムである。就職支援を担当するキャリアデザインセンター及びキャリア支援課を学生へのワンストップ対応の一環として、教務等の窓口及び学生の就職情報コーナーと隣接して設置し、また、カウンセラーを配置することで学生に利用しやすい環境を整えている。

また、芸術系を含む各教育プログラムを就職支援職員が訪問し、教員と密に連絡を取ることで個々の学生の状況を把握し、学生へのガイダンスを教育の現場で行う体制がとられている。

教育分野の特徴として、芸術家としてのキャリアや起業を目指す学生と、デザインなど専門性を活かした職種を含めて企業への就職を目指す学生とを特定した上で、前者を主に教員により、後者を主にキャリア支援室で支援する原則を定め、学生の希望に応じた支援を教職が協働して行える体制が整っている。就職活動を控えた3年生を対象として企業を訪問し、自分の作品をプレゼンテーションさせる「京都北山からの熱い風」、メディア業界人からのアドバイスを受ける「メディアスクール」などを通じて各分野で活躍する卒業生か

らアドバイスを受ける機会を設け、学生にキャリアへの動機付けを行っている。

また、就職活動に用いる作品ポートフォリオの作成が、学習への大きな動機付けとなっている。さらに、メディア業界の卒業生と大学広報を結びつけ、学生に「就職・進路の本」など学生の視点に立ったキャリア情報を強調した大学広報誌の制作へ参加させるなど、随所に学生とのコミュニケーション・動機付けの工夫がなされている。

個別事項

申請時に、本取組を中心としたキャリア支援行事への学生参加の比率を毎年10%向上させるとの達成目標を立てている。専門のカウンセラーを配置したこともあり、取組期間中のキャリア支援課利用者数は10%を大幅に上回る伸びを見せており、メディアスクールについても参加人数が目標値を上回る増加を示している。

これに対し、「京都北山からの熱い風」は、学生のより積極的な行動としてブース形式から企業訪問形式に変更したため、支援スタッフのキャパシティの制限もあり、参加者数は大幅に減少している。この試みは好評であることから、通常授業との連携などにより、より幅広い参加が可能かどうか、検討することを期待する。